

# 令和2年12月市議会定例会より

11月27日から14日間の会期で開催された市議会定例会では、初日の一般行政報告をはじめ、12月補正予算の審議などが行われました。  
※全文は市ホームページにも掲載しています。



## 新庁舎の整備について

昨年11月から基本理念や基本方針、新庁舎に求められる機能などを盛り込んだ「稚内市庁舎建設基本構想」の策定作業を進めてきましたが、この間、本市素案に対する「庁舎建設検討委員会」での協議をはじめ、市議会総務経済常任委員会への報告、市民説明会やパブリックコメントなどを通じて、様々なご意見をいただき、それらをできるだけ反映させた形で、10月8日に「基本構想」を決定しました。現在は、この「基本構想」

に基づき、次の段階の「基本計画」策定に向けて、引き続き検討委員会を開催し、市民の安全・安心を守るための防災拠点機能をはじめ、デジタル化の推進に向けた情報通信基盤の整備による行政運営の効率化や、ペーパーレス化による執務室の省スペース化などの、より細かな導入機能の検討と、それを前提として、建設規模を現庁舎と同程度と仮定すると、概算事業費が、現庁舎の解体費や外構工事費なども含め、約60億円となることなどについて、議論していただいています。なお、「基本計画案」は、

## 工藤市長の一般行政報告

検討委員会の議論を踏まえ、10月21日に総務経済常任委員会で経過なども含め、説明させていただいたほか、12月中旬には、検討委員会からの答申をいただける予定であり、改めて、12月25日に市議会連合審査会に対してご説明いたしますが、今のところ、最終的な「基本計画」の取りまとめは、新年の早い時期を想定しています。



市民説明会の様子

北海道の新型コロナウイルス感染症の警戒ステージが引き上げられたことにより中止していた市民説明会は、説明の機会が前後することもありますが、感染症の状況を見ながら、改めて開催することに、ご理解いただければと考えています。

## 国勢調査の実施について

国勢調査は、統計法に基づき、日本に住んでいるすべての人と、世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、大正9年の第1回以来、5年ごとに行われ、今回で21回目です。調査は、213人の調査員が、住所を基に設定した360の調査区を分担し、本市に普段から住んでいる人や、3カ月以上にわたって住むことになっている人などを対象に実施しました。今回はコロナ禍での調査のため、調査員が各世帯を訪問する際には、マスクなどの装着や消毒を徹底したほか、調査の趣旨などを説明する場合は、相手との一定の距離を保ち、発熱などの症状や体

調が悪い場合は訪問を控えるなど、できる限りの感染症対策を行いました。現在、市の国勢調査実施本部において提出された調査書類の確認作業中で、調査結果は、来年6月を目途に、男女別人口や世帯数などの速報値が総務省から公表され、その後、従業員・通学地集計や人口移動集計などが随時公表される予定です。今回の調査結果から得られた内容は、地方交付税の算定基準や、過疎地域の認定要件などの根拠となるほか、国や地方自治体で行う行政施策の基礎資料をはじめ、学術や教育、企業などの幅広い分野で、活用されます。コロナ禍で大変な状況の中、調査にご協力いただいた市民の皆さんをはじめ、調査にあたっていただいた調査員の皆さん、さらには、調査を積極的に支えていただいた市内の施設や団体の皆さんに、改めて感謝いたします。

## 稚内市みどりスポーツパークについて

稚内市みどりスポーツパークは、総合スポーツ施設として、カーリング場や武道場などの建設工事が進められてきましたが、9月末には、多目的体育館が新たに完成し、11月3日にグランドオープンしました。この多目的体育館は、本市では初めて人工芝を敷設した施設で、これまで冬期間の活動場所の確保が困難であった、野球やサッカーなどの屋外競技を中心に、多様なスポーツを楽しめるほか、幼児から高齢者まで幅広い年齢層のスポーツや、レクリエーションなどにも利用いただけます。



グランドオープンを迎えました

プチームの男女7チームが、11月6日から3日間の日程で「エキシビジョンマッチ」として熱戦を繰り広げました。グランドオープンを記念して、11月8日に開催予定であった、スポーツを通じて地域づくりの関わり方や課題などについての、講演会とパネルディスカッションは、残念ながら中止となりましたが、来年2月の「第38回日本カーリング選手権」の稚内開催が、正式に発表されました。今後は、開設の目的でもある、子どもからお年寄りまで多くの世代が体験できる「総合型地域スポーツクラブ」の実現を目指しながら、スポーツ活動の拠点施設として、市民の皆さんのニーズに答えられるよう努めていきます。

## 航空会社への訪問と北海道エアポートの運営状況について

航空会社への訪問については、11月16日と17日に、豊富町長や礼文町長、稚内空港高度利用協議会会長、各観光協会長とともに、全日本空輸株式会社(ANA)と株式会社フジドリームエア